Creative Enzymes®

天然のスタフィロコッカス・アウレウス内因性プロテイナーゼGluC

Cat. No. NATZ-137

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この酵素は、黄色ブドウ球菌V8から分離され、特にグルタミン酸残基のカルボキシル側で切断します。リン酸緩衝液系では、グルタミン酸とアスパラギン酸の両方のカルボキシル側でペプチド結合を切断し、アンモニウム緩衝液系ではグルタミン酸のカルボキシル側で切断します。その高い基質特異性により、さまざまなタンパク質配列解析におけるペプチドマッピングに使用されます。 1. グルタミン酸のカルボキシル末端での専用切断 0.01–0.1 mol/Lの重炭酸アンモニウム（pH 7.8）または0.01–0.1 mol/Lの酢酸アンモニウム（pH 4.0）中で、30–37°Cで2–24時間消化し、酵素と基質のモル比は1:30–100とします。 2. アスパラギン酸のカルボキシル末端での同時切断 上記と同じ条件で、0.01–0.1 mol/Lのリン酸緩衝液（pH 7.8）中で消化します。
用途	具体的には、グルタミン酸残基のカルボキシル側で切断します。さまざまなタンパク質の配列解析のためのペプチドマッピング。
別名	プロテアーゼV8

製品情報

由来	スタフィロコッカス・アウレウス V8
形態	白い結晶または結晶性の粉末
CAS登□番号	66676-43-5
分子量	約27,000
活性	20単位/mg以上
最適pH	プロテアーゼ活性はpH 3.5〜9.5の範□で□出可能であり、最大活性はpH 4.0およびpH 7.8で□察されます（基質としてヘモグロビンを使用）。
単位定義	1ユニットは、pH 7.8および25°Cで基質2-Phe-Leu-Glu-4-NAから1μmolの4-ニトロアニリンを1分間に生成する酵素の量として定義されます。